

第6小委員会

美 術

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程 野 仁 様

第12地区教科書採択調査委員会第6小委員会委員長 服 部 和 樹

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、美術科の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された3者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された3者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 開隆堂出版 「美術1 発見と創造」「美術2・3 探究と継承」

- 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。
 - ・身近なものや風景を観察したり、使われなくなった材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして想像力を生かしたり、表現方法を工夫したりして絵を描いたり、形や色彩、質感などの特徴を生かしたり、心に残った出来事や情景を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。
- デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。
 - ・身の回りにある、形や色彩から、その特徴を学び、木の温もりや木目の美しさを生かし、工芸品を作ったりする活動を通じて、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し、構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。
 - ・障屏画や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、美術文化の見方や感じ方などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わったりする。また、ロマン主義の主題との関りや印象派の光の捉え方について、話し合う活動を通して、表現方法の違いや美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。
(第2・3学年)
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプやシンボルマークの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年)
 - ・「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第2・3学年)
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・「祭りの造形」の題材において、地域に伝わる祭りを紹介し、社会科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第1学年)
 - ・「安心と安全のデザイン」の題材において、校内の安全を考える活動を紹介し、保健体育科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第2・3学年)
 - ・全学年の巻末で、「学びの資料」として、学習のまとめの資料や技法や用具の使い方などを紹介したり、第2・3学年の美術の歴史と交流で、北海道の土偶やパブリックアートを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(2) 光村図書 「美術1」「美術2・3」

○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。

- ・身近なものや人物のしぐさからイメージを広げて絵や目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、想像の生物のおもしろさや動きを立体に表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。

○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。

- ・地域の特性を生かしたデザインを形や色彩を工夫して考えたり、用途や条件に応じて発想を広げ、様々な用途に応じた焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。

○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。

- ・浮世絵の構図や明快な色彩など日本の美術が西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。また、透視図法を記入する活動を通して、作者や作品の背景に興味をもち、表現の工夫や意図について見方を深め、よさや美しさを味わったりする。

(第2・3学年)

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。

- ・「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや視点の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年)
- ・「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第2・3学年)

○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。

- ・生活をいろいろ文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第1学年)
- ・「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第2・3学年)
- ・全学年の巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、鑑賞の流れや話合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり、第2・3学年の伝統工芸・民族衣装の鑑賞題材で、アイヌの伝統文様や着物を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

(3) 日本文教出版 「美術1 美術との出会い」「美術2・3上 学びの実感と広がり」「美術

2・3下 学びの探求と未来」

- 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。
 - ・身近にある人や情景、愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かした絵を描いたり、木の枝や廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。
- デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。
 - ・自然の植物や生き物を忠実に表現し、人工的な模様とし、身近な紙の特性を生かし、形や色彩に着目し、美しい装飾をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。
- 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。
 - ・パブリックアートやアートイベントなどの現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わったりする。また、原寸大の作品を隅々まで見て、話し合う活動を通して、作者の意図や社会における美術の力について関心を持ち、よさや美しさを楽しむ。 (第2・3学年)
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「じっくり見ると見えてくる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、形や質感、色彩など作品の表し方の違いを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 (第1学年)
 - ・「季節を楽しむ心」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、和菓子や食器を取り入れられた自然の良さを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 (第2・3学年)
- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・「自然の美しさから生まれた」の題材において、雪の結晶や蜂の巣のハニカム構造を紹介し、理科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 (第1学年)
 - ・「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、お祝いの気持ちを伝える水引を紹介し、外国語科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 (第2・3学年)
 - ・全学年の巻末で、「学びを支える資料」として、様々な用具、技法の資料や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、第2・3学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・701 美術・801	美術1 発見と創造 美術2・3 探究と継承
取扱内容	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なものや風景を観察して絵を描いたり、<u>使われなくなった材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</u>（第1学年） ・<u>想像力を生かしたり、表現方法を工夫したりして絵を描いたり、心に残った出来事や情景を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</u>（第2・3学年） <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある、形や色彩から、<u>その特徴を生かして模様を考えたり、木の温もりや木目の美しさを生かし、工芸品をつくったりする活動を通じて、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</u>（第1学年） ・<u>人々の生活や自然環境など、広く視野を持ち、伝統工芸や製品をデザインする活動を通して、機能を高めるデザインや、独創的・総合的な見方や考え方を培い、自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</u>（第2・3学年） <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>作者の表現した思いや作風などについて話し合う活動を通して、表現の方法の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</u>（第1学年） ・<u>生活を豊かにする用具の目的や機能について話し合ったり、その形や色彩について話し合ったりする活動を通して、機能と美しさの調和への関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</u>（第1学年） ・<u>障屏画や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、美術文化の見方や感じ方などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。また、ロマン主義の主題との関りや印象派の光の捉え方について、話し合う活動を通して、表現方法の違いや美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</u>（第2・3学年） 			
内容の構成・排列分量等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプやシンボルマークの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年） ・「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動（第2・3学年） <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祭りの造形」の題材において、地域に伝わる祭りを紹介し、社会科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫（第1学年） ・「安心と安全のデザイン」の題材において、校内の安全を考える活動を紹介し、保健体育科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫（第2・3学年） 			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末で、「学びの資料」として、学習のまとめの資料や技法や用具の使い方などを紹介したり、第2・3学年の美術の歴史と交流で、北海道の土偶やパブリックアートを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行されており、作者や作品の情報や美術館の情報などが掲載されている。 ○ 北海道と関わりのある、アイヌ文化（着物）や彫刻（安田侃）、ロゴマークなどを取り上げられている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2・3学年	美術・702 美術・802	美術1 美術2・3
取扱内容	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なものや人物のしぐさからイメージを広げて絵を描いたり、自然物や身近にある材料の形や色彩、材質を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。(第1学年) ・目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、想像の生物のおもしろさや動きを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。(第2・3学年) <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かしたデザインを形や色彩を工夫して考えたり、様々な用途や条件に応じて発想を広げ、様々な用途に応じた焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。(第1学年) ・地域の特性を考え、地域の魅力を伝えるデザインとし、椅子の座り心地や利便性を求め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。(第2・3学年) <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版の表現のよさや多色刷りの美しさなどについて話し合う活動を通して、版画と絵の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。また、風神雷神を表した作品を比較し、話し合う活動を通してそれぞれの違いのよさや、我が国の美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。(第1学年) ・浮世絵の構図や明快な色彩など日本の美術が西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。また、透視図法を記入する活動を通して、作者や作品の背景に興味をもち、表現の工夫や意図について見方を深め、よさや美しさなどを味わったりする。(第2・3学年) 			
内容の構成・排列分量等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや視点の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年) ・「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第2・3学年) <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活をいろいろ文様」の題材において、エッセイの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第1学年) ・「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第2・3学年) 			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末で、「学習を支える資料」として、鑑賞の流れや話合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり、第2・3学年の伝統工芸・民族衣装の鑑賞題材で、アイヌの伝統文様や着物を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力を囲みで示したり、表現につながる鑑賞作品と鑑賞が深まる問いを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書が発行されており、掲載作品がいろいろな角度から見ることができる。 ○ 北海道と関わりのあるアイヌ文化（木彫や着物）や彫刻（イサム・ノグチ）、包装紙デザインなどを取り上げている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、作品をつくる際の安全について注意喚起のマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年 第2・3学年上 第2・3学年下	美術・703 美術・803 美術・804	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来
取扱内容	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある人や情景、愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。(第1学年) ・視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かした絵を描いたり、量感や動勢などを生かし、感情やイメージを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。(第2・3学年) <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の植物や生き物を忠実に表現し、人工的な模様と、身近な紙の特性を生かし、形や色彩に着目し、美しい装飾をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形、色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。(第1学年) ・木や革などの材料の特性を生かした工芸品のデザインを工夫する活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。(第2・3学年) <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の造形的なよさや美しさなどについて話し合う活動を通して、美術文化や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。また、折り曲げた屏風のよさや美しさなどについて、話し合う活動を通して、美術文化や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。(第1学年) ・パブリックアートやアートイベントなどの現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。また、原寸大の作品を隅々まで見て、話し合う活動を通して、作者の意図や社会における美術の力について関心を持ち、よさや美しさを楽しむ。(第2・3学年) 			
内容の構成・排列 分量等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「じっくり見ると見えてくる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、形や質感、色彩など作品の表し方の違いを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年) ・「季節を楽しむ心」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、季節感を取り入れた和菓子や食器のデザインのよさを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動(第2・3学年) <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の美しさから生まれた」の題材において、雪の結晶や蜂の巣のハニカム構造を紹介し、理科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第1学年) ・「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、お祝いの気持ちを伝える水引を紹介し、外国語科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫(第2・3学年) 			

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末で、「学びを支える資料」として、技法の資料や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、第2・3学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、造形的な視点を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書が発行されており、動画作成について作家がどのように制作したかが分かるようになっていたり、作品を3Dで表現したりしている。 ○ 北海道と関わりのある、アイヌ文化（着物や木彫）や北海道出身の作家（大西、本濃）や彫刻、シンボルマークなどを大きく取り上げられている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、用具の安全な使い方などについて注意喚起するマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。